

本格的な春となりましたが、皆様、いかがお過ごしでしょうか。

こちらに着任してから、複数の機会に、ケベックの方々は何んて心が温かいのだろう、と感じることがありました。自分らが当事者である場合だけでなく、端で見ている状況でもそのように思うことがありました。一言その点に触れたいと思いました。

暖かくなり、日本関係の行事が目白押しですが、今回は、4 月分も含めます。

●1 月 31 日から、能登半島地震で被災された方々向けの義援金受付を開始しているところ、すでに当地の各国の方々より当館へあたたかいご寄附を寄せていただいております。この場を借りて篤く御礼申し上げます。お預かりした義援金は、当館から日本政府や日本赤十字社へお送りしており、最終的に被災された方々へ届けられます。

●一時帰国中の 4 月 11 日、京都府を訪問し、西脇京都府知事と石田京都府議会議長とそれぞれ面会し、京都府の方々に温かく迎えていただきました。ケベック州と京都府は 2008 年、2012 年、2016 年の 3 回にわたり交流提携を結んでいます。面会では、ケベック州と京都府の交流の現状や今後の関係強化への取り組みについて意見交換を行いました。合間を縫って、府庁舎の近くにある京都御所なども久々に訪問し、心を洗われる思いでした。

そして、この友好協定の枠組みで、5 月 13-18 日に、ケベック州議会のナタリー・ロワ議長ら 3 名の議員が訪日され、美しい京都で石田議長や西脇知事との交流を行うと共に、外務省では有馬北米局長との意見交換も実施されました。日本とケベックの関係強化に向けて有意義なご訪問になったことと確信しています。

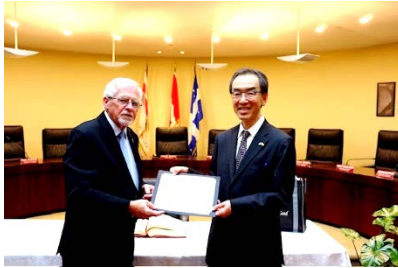


●4 月 20 日、森本首席領事が、第 33 回アンドレ・ジルベール師範空手大会に出席し、開会式で挨拶を行いました。年齢や性別に関係なく、モントリオール在住の多くの空手家の皆さんの熱のこもった演武や試合に圧倒されました。



同じ空手の関連では、5 月 15 日、私は、カークランド市にある空手道場を訪問しました。同市の Michel Gibson 市長夫妻が市庁舎にて温かく迎えてくださいました。また、同市施設で行われている空手道場で長年指導している Angelo

Massotti さんから練習風景を見せていただきました。現在、120 名ほどの生徒さんがおられ、なかには、親子二世代で道場に通っておられる方々も居るそうです。当日は、子供さんを中心に活発な練習風景も見ていただき、日本由来のスポーツが同市において実践されていることに感銘を受けました。Gibson 市長や Massotti 氏など関係者の方々のご尽力に感謝いたします。



●4 月 20 日、日系カナダ人文化会館（JCCCM）において、着物ファッションショーが開催され、森本首席領事が参加しました。伝統的な着物から、現代的なアレンジがなされた装いまで、様々な着物ファッションが披露されました。



●モントリオール美術館で特別展《 Tōkaidō - Paysages rêvés d' Andō Hiroshige 》が 9 月 8 日まで開催されています。そのベルニサージュが 4 月 25 日に行われ、多数の関係者が駆けつけました。広重の東海道五十三次は旅や観光にも関連していることから、当館からは、この機会を借りて「食で旅する東海道」をテーマに、東海道の土地にまつわる食材を使った和食を提供しました。ラウラ・ヴィーゴ・アジア美術部門キュレータをはじめとする同美術館関係者の特別展開催に至るご尽力に敬意を表すると共に、多くの方々がこの日本美術の傑作を鑑賞していただけると嬉しく思います。



写真 : Sebastien Roy

●5 月 10 日、モントリオール市立植物園内の日本館において、いけばなインタ

一ナショナルモントリオール支部の定期華道展の前夜祭が開催され、森本首席領事が出席し挨拶を行いました。翌 11 日には、私も展示会場を視察しました。本年で 53 周年を迎える歴史ある行事です。大勢の観覧者が、支部メンバーによる見事な各作品を鑑賞しておられました。生け花に対する幅広い層のケベックその他の方々の関心をうれしく思いました。いけばなインターナショナルと日本庭園の関係者の方々のご尽力に感謝いたします。



●19 日、同じ日本庭園で、30 年以上続く恒例のお花見ピクニックが実施されました。今回は 400 人を超える来場者があったそうです。皆さんが、弁当を食しながら皆さんが晴れ渡る青空の下、植物園・日本庭園の豊かな自然を楽しんでおられました。また、催し物として、勇壮な「嵐太鼓」の演奏や古武術の演武が行われ、来場者の方々が見入っていました。他方、日本館内では、茶道裏千家淡交会モントリオール協会の方々が、途切れることのない希望者に茶道を紹介しつつお茶をふるまっておられました。この時期日本館周辺に展示されている植物園所蔵の盆栽も私にとっては新たな発見でした。心癒される緑の環境の中、大変な盛況となったこの行事を実施された関係者の方々に深く敬意を表します。



●5 月 14 日、上川外務大臣は、衆議院招待により訪日中のカナダ・日本議員連盟一行による表敬を受けました。一行中、当館の管轄州選出議員としてはスタン・クッチャー共同議長・上院議員（NS 州）、アンジェロ・ヤコーノ副議長・下院議員（QC 州）、マイケル・マクドナルド執行役員・上院議員（NS 州）そしてセバスティエン・ルミール執行役員・下院議員（QC 州）が参加されました。



「百聞は一見にしかず」ということで、ご一行の今回の訪問を通じて日本に関する理解が更に深まったことと確信しています。

●5 月 17・18 日、当館は国際交流基金とともに、今年で 40 周年を迎えるカナダ巡回日本映画祭にて、今年は、時代やテーマの異なる 3 本の映画を上映し、例年を超える大盛況でした。そのうち、小津安二郎監督の古典「お茶漬けの味」（1952 年）はフランス語字幕を選びました。以前も書きましたが、映画は、視覚を通じた情報でわかりやすいですし、ちょっとした会話や仕草からその国の人々の習慣や考え方を学ぶことも大きな魅力です。映画をご覧になったカナダの方々が、リラックスした時間を過ごされ、また、日本のことを更に知りたい、日本に行きたい、といった気持ちになっていただけたのであれば主催者として望外の喜びです。



* 本件レターは、仏・英語にても、メルマガ購読者に配信しています。